

小 牧 連 携 だ よ り

新病院外観イメージ
平成31年度開院予定



◆連携ニュース◆

地域連携室に新たなメンバーが加わりました	P2
地域連携業務のご紹介	P3
満足度アンケート調査結果の報告	P4

◆認定看護師紹介◆

がん性疼痛看護 認定看護師	P8
皮膚・排泄ケア 認定看護師	P9

◆地域連携トピックス◆

地域連携室の取り組みについて	P10
----------------------	-----

【 地域連携室 業務内容 】

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 1. 地域の医療機関との連携に関すること | 6. 訪問看護に関すること |
| 2. 退院支援に関すること | 7. 医療情報の提供(カルテ開示)に関すること |
| 3. 医療サービスの向上に関すること | 8. その他(地域連携関連業務全般) |
| 4. がん相談支援に関すること | |
| 5. 医療福祉相談に関すること | |

【 受付時間 】

平日 午前8時30分～午後7時
土曜 午前9時～午後0時

TEL 0568-76-1434
FAX 0568-74-4516



～地域連携室に新たなメンバーが加わりました～



室長 小島 英嗣

～地域連携室長挨拶～

平素より地域医療連携にご協力いただき厚くお礼申し上げます。地域連携室は今年で開設5年目を迎えました。新たなスタッフも加わり、これまで以上に患者さんに寄り添った支援ができるよう、病診連携・入退院支援・患者相談をはじめ各部門の拡充をはかってまいります。より一層のお力添えを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



間野 京子 看護主任
患者相談、カルテ開示

患者さんからの相談に、しっかり傾聴して対応できるように頑張っていきたいと思っております。



小副川 知子 看護主任
入退院支援

皮膚・排泄ケア認定看護師としてストーマ・創傷などの相談にのれればと思っています。



奥村 佳美 看護主任
がん相談、がんパス

がん性疼痛看護認定看護師です。患者さんの様々なつらさを和らげられるよう支援します。



小栗 卓実 看護師
入退院支援

安心して退院できるような支援を目指して頑張ります。よろしくお願い致します。



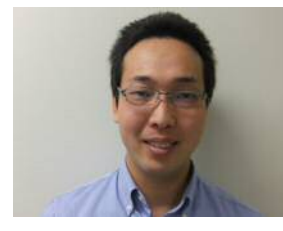
若林 智美 看護師
入退院支援

患者さん、ご家族の方が笑顔で安心して退院できるよう支援を行ってまいります。



西村 美穂 看護師
訪問看護

4月から訪問看護をしています。慣れない事もありますがよろしくお願い致します。



吉本 隆正 主事
事務

地域医療ネットワークシステム、各委員会事務の担当です。早く戦力になるよう頑張ります。



佐藤 遥 主事補
医療福祉相談

明るく元気に日々成長して医療ソーシャルワーカーとして働けるよう頑張ります。



中村 純奈
病診連携事務

地域の医療機関との掛け橋となれるよう、日々笑顔と絶やさず真心のある対応で頑張りたいと思っております。



石田 文夫
暴言・暴力対応

普段は受付窓口の補助をしています。患者さんに寄り添い、問題のある人には厳しく対応します。



高井 耐二
暴言・暴力対応

病院内における安全・安心の確保のため、微力ながら頑張ります。



地域連携業務のご紹介

地域連携室では、地域のかかりつけ医の先生方のご協力により患者さんに質の高い医療を提供するための様々な業務を行っております。その一部をご紹介します。

がん地域連携パス

がん地域連携パスは、地域のかかりつけ医(連携登録医)の先生方と当院の医師が統一した診療計画書(ゆい日記)を基に、治療方針や治療経過を共有し、協力する事で安全で質の高い医療を提供する取り組みです。

がん地域連携パスによる診療は、がん治療連携指導料の算定が可能となります。現在、胃がん、大腸がん、乳がんを中心に肺がん、肝がんを含めた5大がん連携パスに積極的に取り組んでいます。

連携パスについてのご質問などがありましたら、お気軽にご連絡ください。

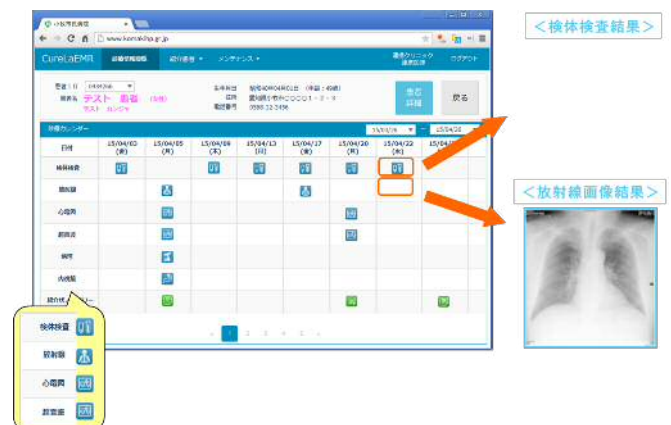


小牧市民病院地域医療ネットワークシステム

小牧市民病院地域医療ネットワークシステムは、当院の医師記録や検査の結果をかかりつけ医の先生方が閲覧するためのシステムです。

当システムでは、アレルギーの有無、血液検査や細菌検査の結果、CTやMRIの画像、心エコー、心電図、医師記録、退院時要約などの情報が閲覧可能であり、診療情報の共有によって検査の重複を防ぎ、質の高い診療を提供することが可能となります。

利用には事前申請が必要となっております。設置希望はもちろん、説明のみの希望でもお気軽にご連絡ください。



満足度アンケート調査結果の報告書(平成29年3月実施)

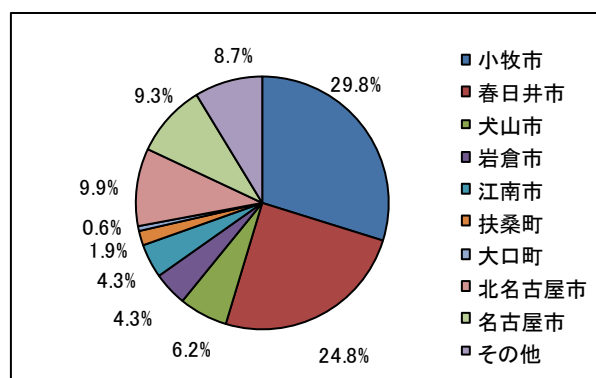
今年3月に実施しました満足度アンケートの調査結果を集計しましたので、報告します。ご意見・ご要望につきましては、新病院を見据え、地域のかかりつけ医の先生方にご満足いただけるような地域連携室の体制強化につなげてまいりたいと考えております。

《医科》

～アンケートの回答者について～

地区別	人数	割合
小牧市	48	29.8%
春日井市	40	24.8%
犬山市	10	6.2%
岩倉市	7	4.3%
江南市	7	4.3%
扶桑町	3	1.9%
大口町	1	0.6%
北名古屋市	16	9.9%
名古屋市	15	9.3%
その他	14	8.7%
合計	161	100.0%

アンケート回答者	人数	割合
医師	144	89.4%
看護師	6	3.7%
事務	5	3.1%
相談員・ワーカー	3	1.9%
コ・メディカル	0	0.0%
無回答	3	1.9%
合計	161	100.0%



アンケート医療機関

配布部数：371

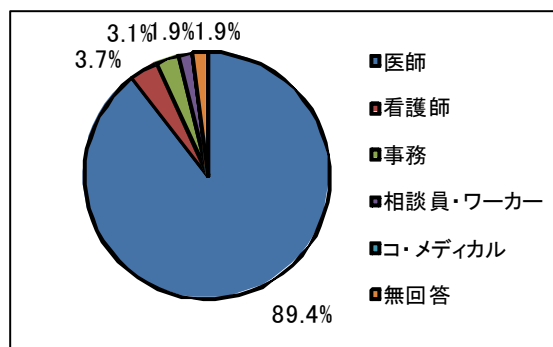
回収数：161

回収率：43.4%

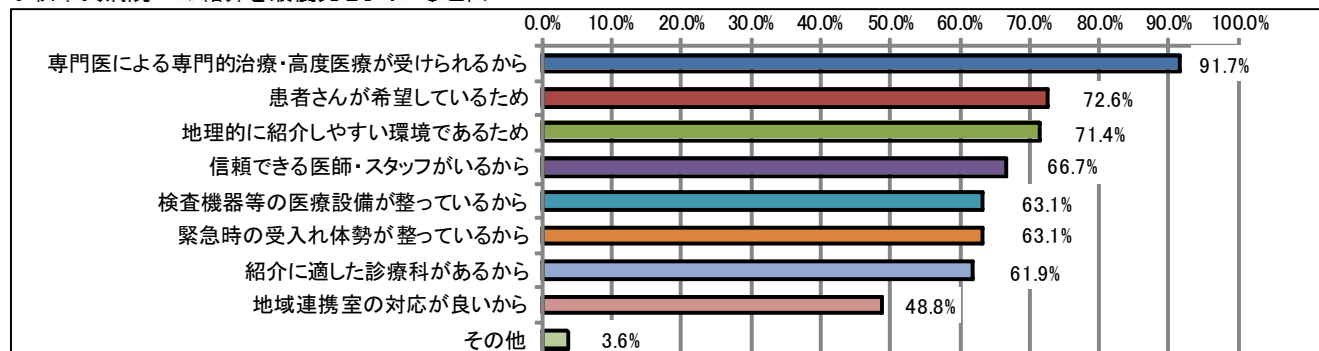
～紹介先について～

紹介先病院の選択について

小牧市民病院への紹介を最優先としている。	76	47.2%
他の病院への紹介を最優先としている。	70	43.5%
どちらもチェック有り	8	5.0%
無回答	2	1.2%
その他	5	3.1%
合計	161	100.0%



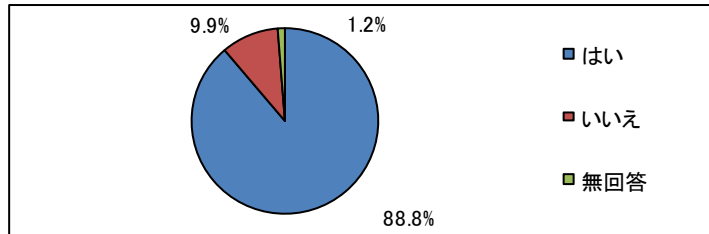
小牧市民病院への紹介を最優先としている理由



～地域連携室について～

紹介予約等の電話連絡を含め、
地域連携室を利用されたことがありますか。

はい	143	88.8%
いいえ	16	9.9%
無回答	2	1.2%
合計	161	100.0%



電話対応は丁寧ですか。

満足	92	64.3%
やや満足	30	21.0%
普通	19	13.3%
やや不満	2	1.4%
不満	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	143	100.0%

予約取得はスムーズですか。

満足	76	53.1%
やや満足	35	24.5%
普通	24	16.8%
やや不満	5	3.5%
不満	1	0.7%
無回答	2	1.4%
合計	143	100.0%

回答書の内容は十分ですか。

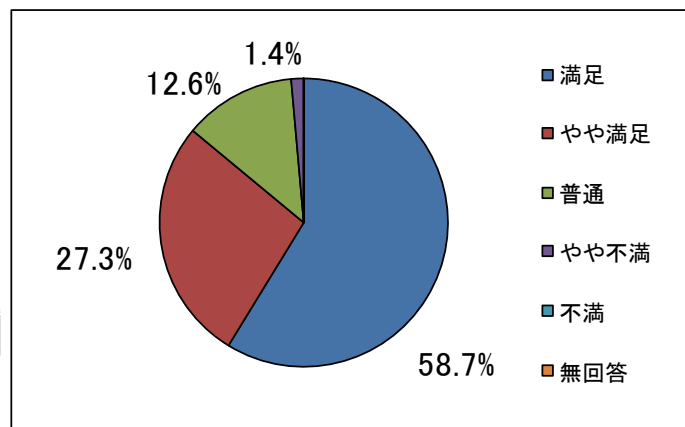
満足	83	58.0%
やや満足	30	21.0%
普通	22	15.4%
やや不満	7	4.9%
不満	0	0.0%
無回答	1	0.7%
合計	143	100.0%

回答書送付のタイミングは適切ですか。

満足	77	53.8%
やや満足	25	17.5%
普通	30	21.0%
やや不満	9	6.3%
不満	1	0.7%
無回答	1	0.7%
合計	143	100.0%

総合評価

満足	84	58.7%
やや満足	39	27.3%
普通	18	12.6%
やや不満	2	1.4%
不満	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	143	100.0%



満足度アンケート調査結果の報告(平成29年3月実施)

《 歯科 》

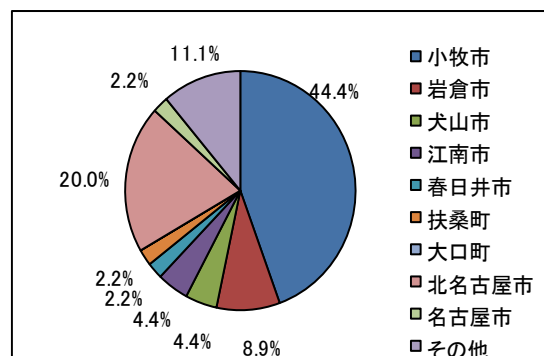
～アンケートの回答者について～

地区別

小牧市	20	44.4%
岩倉市	4	8.9%
犬山市	2	4.4%
江南市	2	4.4%
春日井市	1	2.2%
扶桑町	1	2.2%
大口町	0	0.0%
北名古屋市	9	20.0%
名古屋市	1	2.2%
その他	5	11.1%
合計	45	100.0%

アンケート回答者

医師	42	93.3%
看護師	1	2.2%
事務	1	2.2%
歯科衛生士	1	2.2%
コ・メディカル	0	0.0%
合計	45	100.0%



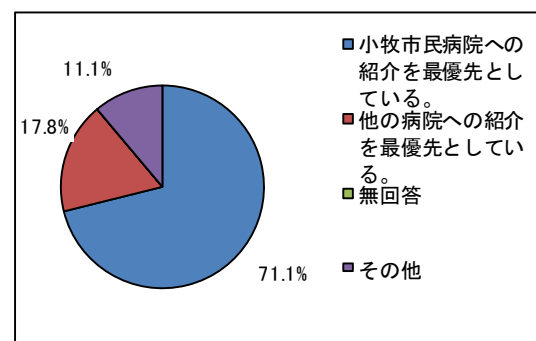
アンケート医療機関

配布部数： 134 回収数： 45 回収率： 33.6%

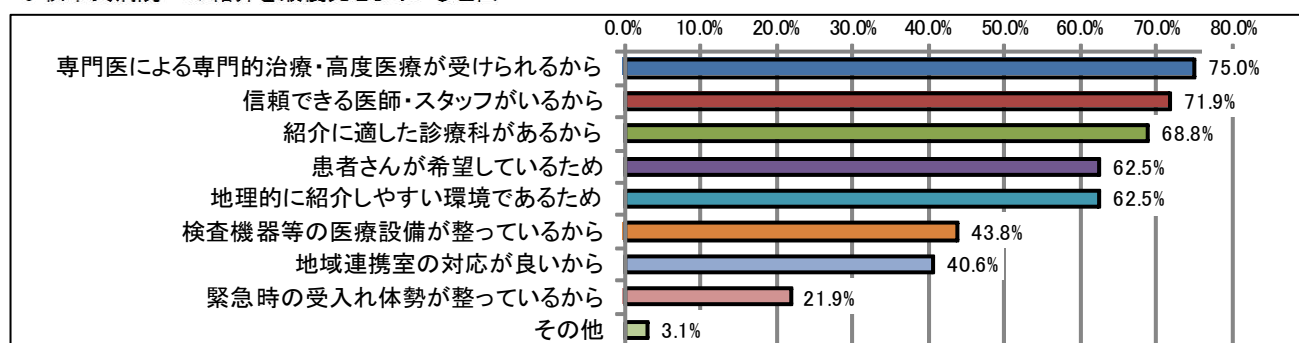
～紹介先について～

紹介先病院の選択について

小牧市民病院への紹介を最優先としている。	32	71.1%
他の病院への紹介を最優先としている。	8	17.8%
無回答	0	0.0%
その他	5	11.1%
合計	45	100.0%



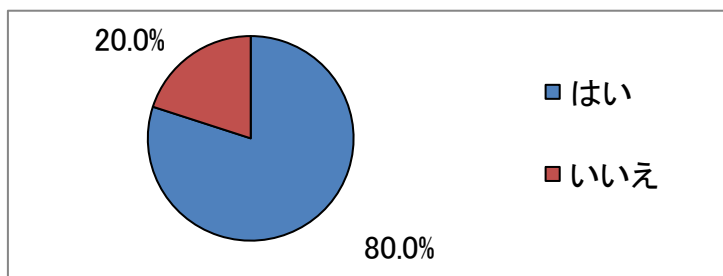
小牧市民病院への紹介を最優先としている理由



～地域連携室について～

紹介予約等の電話連絡等を含め、
地域連携室を利用されたことがありますか。

はい	36	80.0%
いいえ	9	20.0%
合計	45	100.0%



電話対応は丁寧ですか。

満足	18	50.0%
やや満足	12	33.3%
普通	5	13.9%
やや不満	0	0.0%
不満	0	0.0%
無回答	1	2.8%
合計	36	100.0%

予約取得はスムーズですか。

満足	15	41.7%
やや満足	12	33.3%
普通	6	16.7%
やや不満	1	2.8%
不満	0	0.0%
無回答	2	5.6%
合計	36	100.0%

回答書の内容は十分ですか。

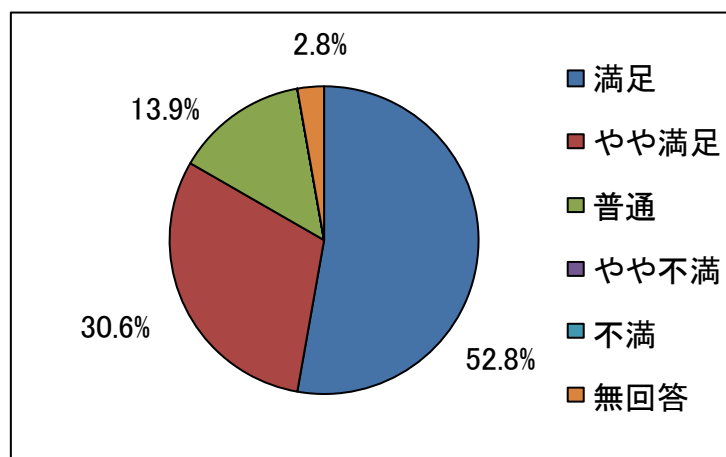
満足	22	61.1%
やや満足	7	19.4%
普通	6	16.7%
やや不満	0	0.0%
不満	0	0.0%
無回答	1	2.8%
合計	36	100.0%

回答書送付のタイミングは適切ですか。

満足	20	55.6%
やや満足	7	19.4%
普通	7	19.4%
やや不満	1	2.8%
不満	0	0.0%
無回答	1	2.8%
合計	36	100.0%

総合評価

満足	19	52.8%
やや満足	11	30.6%
普通	5	13.9%
やや不満	0	0.0%
不満	0	0.0%
無回答	1	2.8%
合計	36	100.0%



がん性疼痛看護認定看護師



がん性疼痛認定看護師は、がん性疼痛を有する患者とその家族のQOL向上に向けて、水準の高い看護を実践することや看護実践を通して他の看護職者に対して指導・相談を行うことが求められています。

がん性疼痛看護認定看護師の役割の詳細は、以下の通りです。

- 1.がん性疼痛に関する最新の知識を持ち、がん性疼痛を有する患者の身体的・心理的・スピリチュアルな状態を総合的に判断し、個別的なケアを計画・実施できる。
- 2.がん性疼痛に用いる薬剤と薬理作用について理解し、それらを適切に使用し、効果を評価できる。
- 3.がん性疼痛を有する患者・家族のセルフケア能力を高め、生活の質を維持・向上できるように、適切な看護援助を行うことができる。
- 4.がん性疼痛を有する患者・家族の権利を擁護し自己決定を尊重した看護を実践できる。
- 5.病院等の組織や医療サービス提供のシステムを理解し、より質の高い医療を推進するため、他職種と協働し、チームの一員として役割を果たすことができる。
6. がん性疼痛看護の実践を通して、役割モデルを示し、看護職者への指導・相談を行うことができる。

がん治療の進歩で、がん治療期が長期となりがんと診断され治療を受けながら社会生活を続けている方や地域の先生方と連携しながら経過観察中の方が増えてきています。がん治療は入院で行われるだけでなく、外来通院を中心とした治療を継続し、ご自宅で様々な症状や不安を抱えながら社会生活を送り、自宅での療養を続けておられる方も多くなってきています。中には、日常生活に支障をきたすほどの症状やつらさを抱えている方も少なくありません。患者が抱えるつらさを少しでも軽減できるように支援することが、がん性疼痛認定看護師の役割の一つです。

今までは、小牧市民病院に入院中または通院されている患者の支援を中心に行ってきました。つらさを抱える患者の看護ケアを各担当スタッフと一緒に検討したり、症状緩和のために処方された薬剤を症状の状況や程度にあわせて患者自身が使用できるよう支援したり、オピオイド(麻薬)に抵抗や心配・不安を持っている患者・ご家族の心配・不安を軽減し必要な薬剤を安心して適切に使用できるように支援したり、限られた診察時間内で症状やつらさ、困っていることなどを医師にうまく伝えられるような方法を一緒に検討するなどの活動をしてきました。

本年4月より地域連携室にがん性疼痛看護の認定看護師が配属となりました。今後は院内中心の活動だけでなく、地域の先生方や医療者の方と連携し、いつでもどこでも切れ目なくがん患者の支援ができるように取り組んでいきたいと思っております。疼痛を有する患者の看護ケア等でお困りの場合は、地域の医療者の方々と協力していきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

皮膚・排泄ケア認定看護師



小副川 知子



鰐川 玲子



奥村 智昭

当院では昨年度より皮膚・排泄ケア認定看護師が3人になり、ストーマケア、褥瘡管理・排泄ケア・フットケアに対応しています。ストーマケアにおいては、手術前の面談から退院後のケアに介入しています。ストーマ外来は毎週月曜日・木曜日と隔週水曜日の予約制で行っており、日常生活指導や装具交換状況の確認をしています。褥瘡管理においては、院内対策だけではなく、通院中の患者の褥瘡予防ケアにも関わっており、自宅環境や介護状況を確認しながら個々に応じた指導をしています。排泄ケアに関しては、排泄に伴う皮膚障害対策やオムツ使用の説明などを、皮膚科や泌尿器科と連携しながら行っています。また、院内患者の尿道留置カテーテル抜去後のケアに関する問題を解決するために、泌尿器科の医師と“排尿ケアチーム”を立ち上げ、排尿自立に向けた援助も行っています。フットケアに関しては、入院および外来の糖尿病患者に対し、毎週金曜日の予約制で行っており、研修を受けた看護師と共に関わっています。

今後、高齢者や独居の方が増え、創傷や排泄に関する問題を抱えている方への対応を求められる事が多くなることが予測されます。本年4月より、地域連携室に皮膚・排泄ケア認定看護師が配属となり、在宅調整や地域施設との連携に関わる機会を多く持つことになりました。近隣の医療機関の先生方や、訪問看護ステーションの看護師・ケアマネージャーさんと、退院前カンファレンスや面会などでお会いすることで、顔の見える関係の重要性を日々実感しています。“在宅患者訪問看護指導料”には、真皮を越える褥瘡の患者さんに対し、皮膚・排泄ケア認定看護師が、訪問看護ステーションの方と同行し、自宅環境を見ながら実際の看護ケア指導を行うことに対する診療報酬が設けられています。対象となる患者さんがおみえになりましたら、遠慮なくお声かけ下さい。また同行までは必要ないが、自宅環境の調整などのアドバイスが必要な場合は、患者さんの状況を教えていただき、関わる事ができるのではないかと感じています。患者さんの様々な問題に対し、認定看護師としての知識を活用できる機会がありましたら、是非声をかけていただければと思います。

認定看護師とは

日本看護協会が定める21分野のうち、特定の分野に関して熟練した看護技術と知識を有している者を指します。認定看護師として活動するには、実務経験5年以上（うち3年は認定看護分野の経験）を有し、全国に23施設ある認定看護師教育機関にて6ヶ月・615時間以上を修了したうえで、認定審査に合格する必要があります。

当院には、2017年4月時点で16名の認定看護師が在籍しております。地域連携室では、小牧連携だよりにて当院所属の認定看護師とその役割についてご紹介させていただいております。

地域連携トピックス

～地域連携室の取り組みについて～

11月24日

第206回尾張臨床懇話会

演題：当院における大腿骨筋位部分骨折地域連携パスと骨粗鬆症の現状について

講師：星野 啓介

参加人数：7人

大腿骨転子部骨折の症例報告及び近位部骨密度の低下と累積生存率などの統計報告、低骨量を呈する疾患及び予防策などのお話をしました。



1月26日

第6回小牧市民病院地域医療支援委員会及び意見交換会

委員会では、地域医療ネットワークの開示情報範囲の拡大と退院支援の取り組みなどの報告がありました。

意見交換会では、「時間内でも直接救急外来で受け入れ、トリアージが出来ないか」とのご意見がありました。診療科の判断が必要な部分もあることを考慮し、各科と救急外来へスムーズに繋がる態勢を確保していくこととお話しました。



2月26日

第207回尾張臨床懇話会

演題：当科における医科・歯科連携の現状について

講師：古江 浩樹(歯科口腔外科部長)

参加人数：11人

診療統計(初診患者数、手術件数)及び症例統計(抜歯、嚢胞、良性腫瘍)の報告を行いました。他の疾患及び化学療法による骨髄抑制に伴う歯科疾患、周術期口腔機能管理の必要性についてお話をしました。



3月23日

第208回尾張臨床懇話会

演題：パーキンソン病をどう診る

講師：千田 譲(神経内科部長)

参加人数：9人

パーキンソン病の治療、レビー小体型認知症との違い及び多系統萎縮症(MSA)・進行性核上性麻痺(PSP)との違いについてお話をしました。



4月27日

第7回小牧市民病院地域医療支援委員会及び意見交換会

委員会では、地域医療ネットワークシステム、救命救急センター利用患者の受診状況などの報告がありました。

意見交換会では「紹介時の対応に問題があった」とのご指摘があり、事実確認をして早急に対応をすることとしました。



5月26日

第209回尾張臨床懇話会

演題：認知症と運転免許証更新について

講師：山本 高士(脳神経内科医長)

参加人数：13人

新しい認知症の診断基準及び認知症の説明(告知)と法的な扱いについてお話をしました。また、免許更新の際の認知症の診断書に関連して医師の責任が問われる可能性などについてもお話をしました。

